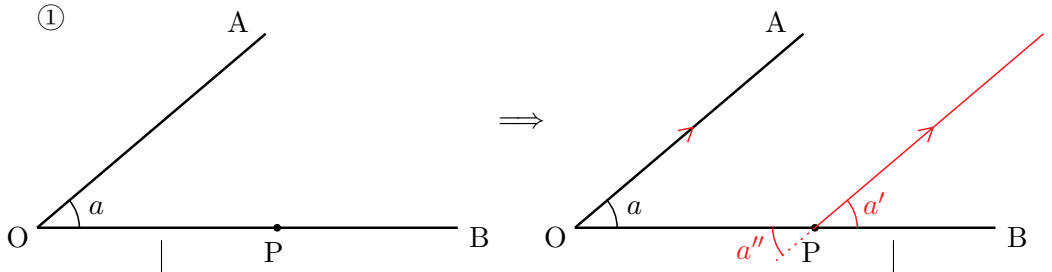
2.4.3　平行線の性質

指導内容	学　習　活　動	備　考
平行線の同位角・錯角	・平行線の同位角または錯角の性質を使って∠AOB と等しい角を点 P が角の頂点となるように作ってみましょう。	・持ち物：コンパス，三角定規，分度器

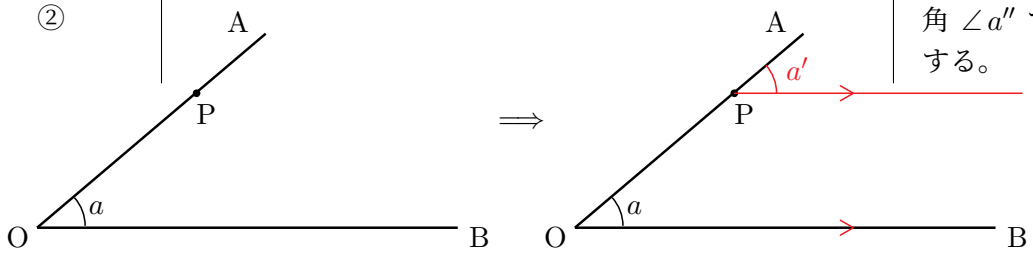
①



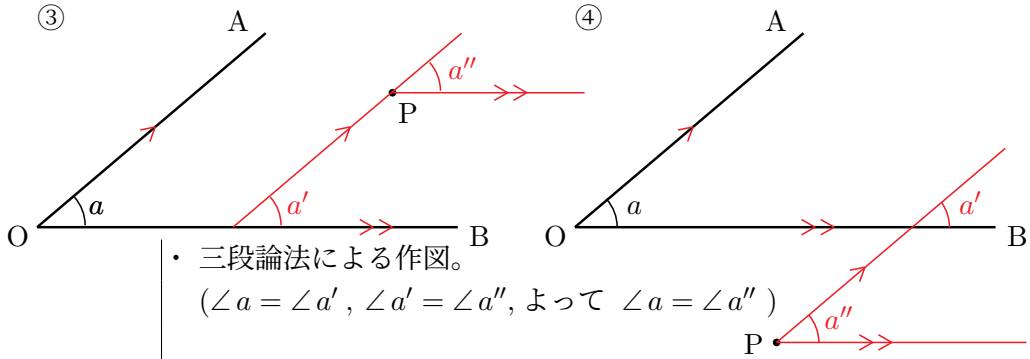
・どうしてこの作図で等しい角ができるのだろう？

・同位角 $\angle a'$ でも錯角 $\angle a''$ でも可とする。

②



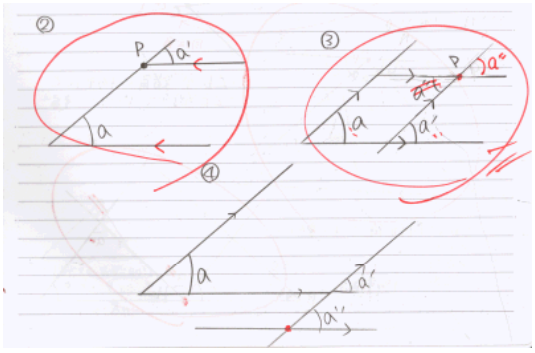
③　　④



・ 三段論法による作図。
($\angle a = \angle a'$, $\angle a' = \angle a''$, よって $\angle a = \angle a''$)

(すべてできた生徒には黒板に正解図を板書するように指示する。)

・②の課題提示まで一斉授業，②の採点からは個別学習 (教師の所にノートを持って行き，〇をもらったら次の点 P の位置を教師が提示する。)。時間を考えて最後に黒板に書いた生徒に作図を説明させまとめとする。

・$\angle a'$ の表記がないものは誤答として扱う。

どこにでも平行線の性質を使って等しい大きさの角ができることを実感させたい。生徒の誤答例としては上の図において $\angle a'$ が図の中に明記されていない場合が多い。ただ単に等しい角を作ればいいのではなくどうして等しくなるのか，授業案の中にも書いたが名前は出さなくても三段論法の考え方を植え付けていきたい。この繰り返しが論証の考え方にもつながるからである。